

平成23年度 地区別市政懇談会 質疑応答一覧

地区ごとのテーマについて

1	<p>鶴巻温泉駅南口広場について、平成21年に策定した整備基本構想に基づき、整備事業に着手し、27年度完了の予定ですが、その進捗状況はどのようになっていますか。 さらに県道612号、613号の歩道の整備についてはどのようになっていますか。</p>
	<p>回答(まちづくり推進課・国県事業推進課)</p> <p>鶴巻温泉駅南口広場整備事業につきましては、平成22年9月3日に都市計画の事業認可を取得し、現在、事業用地の取得作業を実施しており、平成25年度までに事業用地の取得を完了させる計画で鋭意努力しているところです。</p> <p>また、駅前広場整備につきましては、用地取得を並行させ、平成25年度から3年間をかけ、平成27年度に完了する予定です。</p> <p>用地取得につきましては、駅前広場面積の2,300平方メートルのうち、平成22年度に3件、用地取得予定面積の約27パーセントの用地取得を行いました。今年度も3件予定のうち、2件が契約が整っており、残り1件も契約の内諾を得ています。予定通り3件の用地買収を行いますと、全体の約58パーセントの用地取得が完了することとなります。</p> <p>また、今年度は駅前広場事業用地の取得と並行して駅前広場の詳細設計を行っています。駅前広場の施設の配置など、鶴巻温泉駅東側の踏切の乱横断を防ぐ県道612号(上粕屋南金目線)の立体横断施設、南北の駅前をつなぐ自由通路、また、鶴巻温泉駅の改札口の場所などと密接な関係にあります。</p> <p>市としましては、これらの施設を整備するのに手戻りがないよう、関係機関と十分な調整をし、検討を進めています。</p> <p>特に、鶴巻温泉駅の改札や駅舎は、小田急電鉄の施設であり、駅の構内計画は、小田急電鉄の事業となりますので、小田急電鉄と入念に協議を行い、調整を図っていきたくと考えております。</p> <p>県道612号(上粕屋南金目)の歩道整備については、現在、県により、延命地藏尊先から伊勢原15号踏切までの約260メートルの区間の歩道整備を進めていますが、すでに事業用地として取得した部分は暫定整備をし、細切れではありますが、利用できる状態になっております。県ではこの事業の完成予定を平成26年度と説明していますが、今後も事業が円滑に進むよう県へ要望をしていきます。</p> <p>また、県道612号については、延命地藏尊からおおね公園までの区間の歩道整備を要望しています。</p> <p>県道613号(曾屋鶴巻)については、現在東海大北門交差点、それから下大槻入口の交差点からオケ分踏切までの歩道整備を実施しており、延命地藏からミアクチャーナにかけての部分は現時点で事業計画はないということです。市としましては、現在進めている歩道整備が終わりましたら、全線に渡って整備していただけるようお願いしたいと考えます。</p>

2	<p>鶴巻温泉街の活性化を図るため公営源泉活用についての検討を重ねているところですが、温泉を楽しめる賑わいと活力のあるまちづくりのため、駅北口とあわせた温泉街の整備についての状況を説明してください。</p>
	<p>回答(商工観光課)</p> <p>平成22年11月に鶴巻温泉駅北口広場に確保しました新源泉の愛称は公募をさせていただき「つるまき千の湯」になりました。その活用についてですが、まず、公営の日帰り温泉施設であります「弘法の里湯」の開業10周年を記念し、さらなる誘客と市民の健康増進を図るため、平成23年11月1日、既存源泉と新源泉の2種類のお湯を楽しめる施設として、リニューアルオープンいたしました。</p> <p>さらに、温泉街の風情を取り戻し、再活性化を図るため、平成22年2月に策定した「鶴巻温泉街再活性化構想」に基づき、足湯などの新たな温泉施設の整備、あるいは既存の民間温泉旅館への配湯など、新源泉の活用等について検討を進めています。具体的には自治会、商店会、温泉組合など、地元関係者の皆様に組織します鶴巻温泉源泉活用検討会において協議に取り組んでいます。</p> <p>これまでの協議の中で、足湯については、地域住民から早期整備の意向が強いことから「鶴巻温泉街再活性化構想」に位置づけられている「中長期的な取組み」ではなく、「当面の取組み」として、具体的な設置時期や設置場所などを検討しているところです。</p> <p>この検討結果に基づき、今年度内に市として設置場所の選定を進め、来年度以降、施設設計や建設工事に着手したいと考えています。</p> <p>また、今後、配湯を希望する民間旅館とは、個別に具体的な条件などの協議を行い、鶴巻温泉街の活性化に向けた取組みを進めてまいります。</p> <p>鶴巻温泉が、新たに整備する温泉施設から湧き上がる湯けむりに包まれ、地域の皆さんや観光客で賑わうよう、地域住民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。</p>

3

大根川ポンプ場は24年度中に操業開始を目指していますが、その進捗状況について説明してください。
また、大根川ポンプ場の操業開始後、今の鶴巻排水機場について、環境美化に地域住民の力で進めている大根川と善波川を結んだ観光拠点として利用できないでしょうか。観光資源の有効な活用として要望します。

回答(下水道河川整備課・森林づくり課・商工観光課)

大根川ポンプ場建設工事は平成19年度から24年度までの6カ年の継続事業として実施しております。施設の規模としては、敷地面積が4,530平方メートルあり、ポンプ棟は鉄筋コンクリート造りで地上2階地下1階、延べ床面積としては1,071.5平方メートルとなります。排水ポンプの能力としてはドラム缶換算で毎秒75本くらいの雨水を排水することができます。これは時間50ミリの雨水を排水できる能力となります。

工事の進捗状況ですが、順調に進んでおりまして、ポンプ棟の建物が今年の3月に完成、11月に流入口の土木工事を完成し、引き続き取水口の整備に着手予定です。また、工場において雨水ポンプ本体等を製作中であり、3月末にかけての搬入、設置の予定です。合わせて、機械、電気設備等の工事を引き続き実施予定です。平成24年度の秋ごろに試運転を予定しております。

また、ポンプ場完成後の現在の鶴巻排水機場についてですが、現時点において、鶴巻排水機場の廃止時期については、大根川ポンプ場の供用開始後と考えており、当面は、建物を含め緊急災害時の資材などを備蓄する倉庫等として活用を図っていきたいと考えています。

しかしながら、地元の皆様の要望等についても承知しており、周辺のアじさい散歩道や地域住民が親しみの持てる空間として利用できるよう、地元の皆様と協議しながら検討してまいります。

質疑応答

	意見・要望等	当日の回答	補足・今後の対応等	担当課
1	県道整備について、なかなか進まないのは何か問題があるのか。	今現在、用地取得で行き詰まっているということではない。予算に限りがあるので一気に全部、というわけにはいかず、計画的に順次進めているところである。	懇談会における回答に同じ。	国県事業推進課
2	新源泉の配湯の開始については時期的なめどはたっているのか。	配湯を希望する旅館等と個別具体的な調整が必要で、今後検討を進めていく。時期については、まだ具体的な回答はできない。	懇談会における回答に同じ。	商工観光課
3	弘法の里湯の目の前にあるかつて、民間企業の社宅だった広い空地进行を観光振興のため有効に利用することはできないか。	地域のために有効に活用してもらいたいとは考えるが、民間の土地なので行政で強制力を持たせることはできない。また、所有していた企業が倒産した関係もあり権利関係も非常に複雑になっている。	懇談会における回答に同じ。	商工観光課
4	源泉の活用計画が遅いように感じる。掘削前から検討は進めていなかったのか。	具体的なことは検討委員会でまとめており、その結果を踏まえてできることから具体的に決めていく。現在、検討を進めている段階で、掘削の後付で計画を作成しているわけではない。今後、決定したことを順次明確にしていく。	懇談会における回答に同じ。	商工観光課
5	源泉の活用等について、決まったことは市の広報などで公表してほしい。	内容が明確になったものは、広報等に掲載するが、その他に現在発行している「鶴巻温泉ニュース」も利用してお知らせしていきたい。	懇談会における回答に同じ。	商工観光課

6	<p>現在の鶴巻排水機場は、防災の倉庫ということだったが、大根川と善波川が結ぶ場所であるので観光拠点にすれば、という思いがある。</p>	<p>当面は緊急災害時の備蓄倉庫と考えているが、その後のことは皆さんと相談して活用策を検討していきたい。</p>	<p>懇談会における回答に同じ。</p>	<p>森林づくり課</p>
7	<p>福島の原子力発電所の事故に伴う不安がある。放射線量の測定器を購入し、数値を公表してほしい。</p>	<p>空間放射線量については東海大学工学部原子力工学科の協力で市内を網羅的に測定した結果、日常生活上問題のない数値であった。結果については、広報、市ホームページ等で公表している。 食品の安全については、国や県が出荷前に検査を実施しており、市場には暫定基準値以下の食品が流通しているといわれている。 今後も地場産の食材をより安心して食べられるようあらゆる機会を通じて食品の検査体制の強化を県に要望していく。</p>	<p>平成23年12月19日に、神奈川県知事へ食品の検査体制等の強化を求める要望書を提出しました。</p>	<p>くらし安全課</p>
8	<p>鶴巻保育園跡地はどうなるのか。</p>	<p>県から保育園の敷地として借りていたの、県へ返すことになる。</p>	<p>懇談会における回答に同じ。</p>	<p>保育課</p>
9	<p>最近、鶴巻地区のひったくり犯罪が多い。対策をしてほしい。</p>	<p>警察はパトロール強化をしている。市としても、警察OBの地域防犯専門員が青パトでパトロールをしている。犯人の特徴から同一犯による犯行とみられるため引き続き警戒を強化するよう警察へも伝える。</p>	<p>当該地区での一連の犯行に係る被疑者を平成23年11月16日に、神奈川県警の合同捜査本部が検挙しました。</p>	<p>くらし安全課</p>

10	サンライフ鶴巻は廃止されるのか。	サンライフの機能を補完できるおおね公園や鶴巻公民館が近隣にあるため、将来的には廃止で考えている。建物自体のその後の利用法については民間の力の活用も含め今後検討を進めていきたい。	懇談会における回答に同じ。	公共施設再配置推進課
----	------------------	--	---------------	------------